

廣 報 廣 聴 委 員 会 会 議 録

招 集

令和8年8月20日（木）総務政策委員会終了後 議会委員会室

出席委員（7名）

(委員長) 大 下 哲 治 (副委員長) 津 田 幸 一

新井章太 今城雅子 加藤 彰 松田真哉
三木三枝

欠席委員（１名）

錦 織 陽 子

出席した事務局職員

毛利局長 田村次長 松田調整官 田渕議事調査担当係長 松原議事調査担当主任

傍聽者

門協議員 鷺尾議員

報道関係者 0 人 一般 0 人

協議事件

1 市議会だよりについて

~~~~~

午前10時56分 開会

○大下委員長 ただいまより広報広聴委員会を開会いたします。

錦織委員から欠席の届出がありましたのでご報告いたします。

本日は、市議会だよりの作成、編集における継続協議事項について、皆様と協議したい  
と思います。

前回８月４日に開催いたしました委員会におきましては、委員の皆様から継続協議事項について様々なご意見をいただきました。本日はその意見を踏まえながら、今後の市議会だよりの形、方向性について再度ご協議いただきたいと考えておりますが、委員の皆様から何かご意見はございますか。

津田委員。

**○津田委員** 私はですね、前回色々意見がありましたけれども、もう対応済みになっている分は、今までやってこられた委員の方が築いてこられた、意見がまとめられて対応済みになっているという風に考えておりますので、継続協議のみを、今回どうするのかというような形にしていくほうがいいのではないかなと考えておりますが。継続協議だけを議題として取り組んでいくということで、私は、そういう風に考えております。以上です。

○大下委員長 他にご意見ありませんか。

それでは継続協議のみの協議としたいと思います。

まず初めに、継続協議に入る前に、表紙の写真について、以前加藤委員から風景も入れたらどうかという意見が出たと思うんですけど、今までの市議会だよりでは人が中心になってますので、その背景を田淵係長に説明していただきます。

田渕係長。

**○田渕議事調査担当係長** 今、表紙の写真について人ということでお話があったんですけども、これにつきましては、令和4年の10月、1月と、同じように広報広聴委員会で委員の皆様にご協議していただいた結果を踏まえてということでございまして、その内容は、大山町の広報誌で人物を中心に写真を撮っておられまして、実はその前に視察等も広報広聴委員でされてたようです。その中で、米子市も人にスポットライトを当てて表紙写真にしていこう、かつ写真については委員の皆様で撮ってこようということを決められて今の流れができているということでございます。以上です。

**○大下委員長** ありがとうございます。

ということですので、加藤委員、よろしかったでしょうか。

**○加藤委員** はい。

**○大下委員長** では進めます。次に継続協議に移ります。

一般質問の文字が小さくて読みづらい。文字数を少なくして文字を大きくする、という意見が出ていますが、こちらに関してのご意見をよろしくお願いいたします。

新井委員。

**○新井委員** 文字が大きい小さいかっていうのは主観によるところが大きいかなと思うんですけど、私は読む限り小さいという感覚はないので、今のままでいいのではないかと。実際内容も、議員がそれぞれ、自分が掲載したい内容を抜粋して作成しているものなので、今ぐらいの量が、それぞれの思いとかを表現するのにちょうど良い量なのではないかと個人的には感じております。以上です。

**○大下委員長** 他にご意見はいかがでしょうか。

三木委員。

**○三木委員** 文字の件なんですけど、令和7年度に、一般の方からアンケートを取ってるような跡があったんですけど。すみません、正式名称が分かってないですが、市民の方が参加して議会のことをお伝えするような会をしましたかね。あの時のアンケートの中に、文字が小さいっていう意見がやっぱりあったようなんですね。私、文字が小さいというより、ちょっとメリハリに欠けるんじゃないかなということを思ってます。それはデザイン的なことなんですけど、今出た大山町の議会日より、私はすごく見やすいないつも思ってます。文字に大変メリハリがあります。デザインも、あと内容もですね、例えば一般質問ですとタイトルがぼんと一つ、二行ぐらいのタイトルがあって、一目で分かりやすいようなデザインになってまして。文字の大きさもそうですけど、あのようなメリハリのあるようなデザインにしたらもっと見やすくなるんじゃないかなと思います。以上です。

**○大下委員長** 他にご意見ありませんか。

津田委員。

**○津田委員** 文字数を少なくして文字を大きくするっていうのは、できれば本当、理想は理想なんですけれども。今の書体はどういう書体になってるんですかね。

**○大下委員長** 田渕係長。

**○田渕議事調査担当係長** すみません、書体というのはこのフォントであるとかでしょうか。印刷会社に確認してみないと分からないですけども、ずっと踏襲してきておりまし

て、同じようなフォントでしておりますが、フォントの変更であるとか文字の大きさって  
いうのは柔軟に対応できるかと思います。

○大下委員長 津田委員。

○津田副委員長 このフォントの部分、多分明朝とかMSゴシックとか、そういう書物に  
対するものだと思うんですけど、例えばですけどもっと何か丸っこい字だとか、ちょっと  
見やすい、なじめるようなものに変更するとか、先ほどあったメリハリというような部分  
で、強調したい部分を太字とかそういう形にして、もっと市民の方になじみ深くできるよ  
うな形に工夫ができれば、そういう風にしてはどうかと考えておりますが。意見として言  
わせていただきます。

○大下委員長 田淵係長。

○田淵議事調査担当係長 今言われたことにつきましては十分可能かなと思いますので、  
このフォントの方が適切だっというようなご意見がありましたら、それを次の委員会など  
で案としてご提示して皆様に見ていただいて、じゃこれにしようかっていうことは十分可  
能かなという風に思います。以上です。

○大下委員長 他にありませんか。

松田委員。

○松田委員 大きさ云々とか色々あるんですけど、前回の委員会の時に、今城委員がグー  
グルのアンケートを取ってみられたらどうかみたいな意見をされてたと思うんですけど、  
継続協議の一番最後の方にアンケート調査とありますし、例えばこれから議論を深めてい  
く中で、どれくらい意見が出るか分からないですけど、アンケートをまず取ってみて、そ  
れも参考にしながら、継続協議について整えていくみたいな進め方がどうかなと思うん  
ですけど。意見として。

○大下委員長 アンケートを取りながら継続協議をしていくというご意見が出てますが、  
いかがでしょうか。

三木委員。

○三木委員 私も今の意見に賛成です。やっぱり作ってる側より読み手側の方の視点って  
いうのがすごく大事だと思います。ただ、そのアンケートの取り方なんですけど、やっぱ  
り、アンケートします、ホームページで出します、だと、なかなか出てこないんですよね。  
なので、一つ踏み込むためには、例えば配っていただいている自治会の方にちょっと協力い  
ただくとか。ただ出すだけじゃなくて、一步踏み込んで、人が聞くことによって出てくる  
意見っていうのもやっぱりありますので、何か一工夫が必要ではないかなと思います。い  
かがでしょうか。

○大下委員長 今城委員。

○今城委員 はい。あのね、まず自治会でっていうのは、今自治会の負担がものすごく多  
いということなので極力やめましようと言っている中で、こういうものをやりましよう、  
お願いしますよ、っていうことは、はっきり言って時代に取り残されているというか、合  
っていないので。だからこそグーグルフォームとかで自主的にそういうものをしてらいい  
かがでしょうかね、いろんな角度から、って言っているのは、皆さんが自治会とかそうい  
うところに依存しないっていうやり方が今後のやり方だと思うので。できる限りそういう

ことにしましょう、必要なものだけしましょうって言っているわけなので。そこに関してはもう本当に少なくしないと、自治会がとっても困っているっていう現状をこれまで何度も議会の中で話をして来ている中での今の現状なので、それは私は駄目だと思います。で、先ほどおっしゃってた、アンケートしながら直せばいいですよっていうことも、もちろんそれが本当に一番いいだろうという気はするんですけど、いつまでにこの形を変えるのかっていうことを考えると、アンケート調査なんて一週間でいいよっていう話だったらそれもそれでいいですが、その後の協議で色んな意見が出てきたものをどういう風を集約するかということを考えていくと、やっぱりいつまでについていう、最後を決めておかないと。我々は言ってみれば委員会としては任期一年なので。任期一年だけを考えて、次に引き渡すための形式になり何なりというものを決定した上で、次に、来年に引き渡すということになって、それでいいですよってことでここで合意ができればいいだろうと思うんです、一年間かける中でゆっくりという言い方はおかしいけども。そうすると今度は9月議会の分、12月議会の分、まあ3月議会の分は多分次年度っていう形になるだろうと思うので、そういう意味では3月議会の報告を行う市議会だよりからは形を変えましょうっていうこととするのか、それとも年度変わってからね、6月議会のものを報告する段から、形なり文字数なり装丁なり、いろんなデザインも含めてするのかってところを一回ここで決めておかないと、話がちょっと進んでいかないのかなという風に思うし、アンケートをしながらってことになれば、そのアンケートの内容とかっていうのもここで詰めていかないといけないですからね。それを詰めて、でもあの文字どうですか、みたいな話だけでは済まないの、トータルしてどういうことが課題なのかって課題抽出をきちとした上で、そのことをアンケートするならアンケート、アンケートのやり方はどうなのか、なるべく皆さんからの意見が出てきやすいような形という、なかなか難しいんですけどね。グーグルフォームで高齢の方たちにはなかなか難しいところもあるのですが、そこらへんも含めて、きちっと詰めていかないと。できないのでということになると、簡単にアンケートですっていうのも、実はやりにくいんだろなって、だからこそその継続になってるのかもしれないけど、そういうこともあるので、どこまでにするのか、例えば文字数なり何なりも含めて、どこから変えていくのか、デザイン変えていくのか、どの市議会だよりから変更を行っていくのかってことも一回協議しないと。決めてしまってからじゃないと、なかなかこれは進んでいけないよねって思っています。これも意見。

**○大下委員長** ちょっと初めに、アンケートを取るにあたって、これまで問題点とかが結構上がってましたので、ここで田淵係長から、アンケートの傾向について先に説明していただきたいと思います。

田淵係長。

**○田淵議事調査担当係長** 私がお伝えしたかったことは今城委員にあらかた言っていたきまして。それで一点付け加えさせていただくような形にはなるんですけども、どのような方法で実施するのかっていうのは、少し大事なかなっていう風に思っています。理由が、普段から読んでおられる方にアンケート、市議会だよりを広報するってことになれば、その方だけの意見が返ってくるっていうようなことにもなりかねません。本来取り込みたい読んでない層とか、そういったところの声が拾えるような形でのアンケートって

というのが望ましいかなっていうようなところもありますので、アンケートをやるのであればその辺も踏まえて考えていけたらと思っております。また実施のやり方、今グーグルフォームという話があったんですがこれはお金かからないのかなという風には思いますが、これは決めていただくことになりますが、もし郵送でってことになりましたらお金が要りますので、予算の確保であるとか、そういったことも検討が必要になるのかもしれませんが。また細かい調査項目につきましては、私が一任してやるわけにはいけないので、土台を作っていただきながら私が調整をして皆様に諮って決めていただいてアンケート実施していくという形になろうかと思えます。以上です。

**○大下委員長** この情報を踏まえた上でまたご意見をよろしくお願いします。

新井委員。

**○新井委員** 今のお話も踏まえますと、今読んでいただいている方にとってどう視認性を上げていくかっていうところと、今読んでない方々がどうすれば市議会だよりを読みたいと思えますかっていう、二つのアプローチがあると思えます。もしかしたら後者は、例えば世代とかによっては紙冊子だったらそもそも読まないよとかっていうこともご意見としてはあり得るかなと思うので、段階的にはまず、今もうすでに読者として恒常的に読んでいただいている方々にとってどういう紙面であるのがいいかっていうところのアンケートを最初にやる。段階的にというか初めにやるっていう、順序としてはそれがいいかなと思えます。ただ、手法については田淵係長もおっしゃっていただいた通り、今城委員の言った通りなんですけど、なかなか問題もあるってことなので、そこはちょっと皆さんとこれから議論が必要かなというところでございます。以上です。

**○大下委員長** 他にご意見ありませんか。

三木委員。

**○三木委員** すみません、先ほどは認識不足で、自治会の方が今難しいということですね。それでグーグルフォームと、具体的に案として一つ出たんですが、グーグルフォームですとすると、例えばどういうイメージというか、どこに載せてどういう風を集めるイメージかっていうのをちょっと教えていただきたいと思うんですけど。

**○大下委員長** 今城委員。

**○今城委員** ここにもあるように、アンケート用のQRコードが作れるので、作ったらグーグルの中のフォームに入れるようになってるので、そこにアンケート事項がいくつかあるので、例えばいくつかの選択肢の中からこれ選んでくださいとか、自由にご記入くださいとかっていうこともフォームとして作れるので。回答してくださるものっていうのはそんな20も30もっていうわけにはいけないので、精査しないといけないと思えますけど、そのフォームの中に私の意見はこれですよって入れることによって、こちら側には集約がされていくっていう、そういう形なので、そんなに難しくはないけど、そもそもインターネットとか、グーグルのフォームに接続できるかできないかが一番大きなポイントになると思えます。

**○大下委員長** 三木委員。

**○三木委員** 今のお話で、米子市議会だよりにQRコードを載せてということでしたら、新井委員が言われた第一弾ということで、今読むの方にアンケートということなので、

例えばちょっと紙面の一角を割いて、今アンケートを募集してますというような小さな枠を作っようなイメージなのかなということで、理解できました。ありがとうございます。

**○大下委員長** 今城委員。

**○今城委員** とりあえず、まず今の文字どうしましうかねのところに戻らないと。私がアンケートの話をしちゃったりとかしてるんですけど。文字どうしましうかを結論出してないでちょっと、と思っていて。さっき新井委員さんもおっしゃってましたけど、文字がこれで小さすぎて読めないというつもりはないっていうのは、前もこの状態よりもっと小さかったのを文字数を変えまして、この行数と文字数、フォント大きくしてってことになっていて。フォントの問題だとか先ほど言われてたメリハリだとか、フォントの種類、そういうので田淵係長は対応できると思うっていうことであれば、いくつか案みたいなのを我々も出して、印刷屋さんで見やすいインクルーシブなものとかいうのもあったりするんで、そういうものを提案していただく中で、今回の件はできないかと思いますが、次、9月の議会後とかに、もしそういうことが決定できて、文字数を変えなくても視認性が保てるってことであれば、そこは見本みたいな感じのものがちょっとだけあれば、決定はしていけるかなと。その後に、やっぱりっていうことであれば、またそれは協議になっていくかなと思いますし、根本的に文字数変えないとダメですよって話になれば、またそこは来年に発行するところから変えていかんといけんのかもしれないし、ちょっとその辺はまた継続的にってことになると思うんですけど。そういうところも含めてフォントの大きさはもちろんですが、フォントの種類とかも、我々も少し提案して皆で協議するっていうのもいいかなという風に思いますので。基本的には、文字数を少なくして文字を大きくする、文字数は少なくしなくてもなんとかなるのかどうかの検証と確認をする方がいいかなと。次の見出しを大きくするっていうところについても、フォントを大きくするってことになる文字数が変わってくるので、そこが担保できるかってことも含めて、そういうことも見てみる、確認してみるっていうのが、すごく手間にならなかつたらいいかなって思います。よろしくお願いします。

**○大下委員長** 田淵係長。

**○田淵議事調査担当係長** 手間にはなりませんので、大丈夫です。先ほど視認性の話がありましたけれども、印刷会社の方に提案させるっていうことがありましたら私の方で進めさせていただきますし、このフォントが良いということであればそのフォントのもの、例として出させていただきますと思っております。以上です。

**○大下委員長** じゃ、印刷会社の方をお願いしますということで。

次に見出しを大きくする、これどうしましう。出してもらってからにしますか。

(「はい」と声あり)

ではそのようにしたいと思います。

次に、常任委員会の議論について内容等の掲載がないということに関しての協議を行います。毎号各常任委員会の議論の過程や写真などを掲載するには他の項目のスクラップが必要となるということで、備考欄に大山町議会だよりを参考にして委員会のトピックスを掲載するとなっていますが、ちょっと初めに、田淵係長から事前説明をしていただきます

ので、お願いします。

**○田淵議事調査担当係長** 資料を配らせていただきます。本当は白黒ではなくて、若干青が入ったような色になっております。今お配りさせていただいた資料は、大山町の広報誌の一部になります。備考欄のところにスクラップが必要となると書いてあるのは、常任委員会のページというのは今ございません。同じようにページをとって掲載するということになりますと、どうしてもページ数を増やさないといけないということになるんですが、あらかじめこの広報誌のページ数にかかる予算が決まっております、載せるのであれば何かしらを削らないといけないというところですね。掲載するかしないのか、するのであればどこを削っていくのかというところまで考えないと、単純に掲載とはならないと思っておりますので、その辺も踏まえてご協議していただけたらと思います。以上です。

**○大下委員長** 以上を踏まえてご意見をよろしくお願いいたします。

今城委員。

**○今城委員** ページ数を変えないっていうことを前提にする中で、何を削るのか、何をスクラップするのかということをまず検討していかないといけないっていうことはもちろんあると思います。それと、9月の定例会ってここに書いてあるんですけど、定例会の中での常任委員会の活動云々っていうことになると思うんですけど、大山町は二つしか常任委員会がないんでね、やり方としてどうなのかってなると思うんですけど。基本的に定例会で行われる委員会の話っていうのは、予算とか条例に関係することの方が多と思うんですよ。それでそういうことをしていくとすれば、内容やどんな意見があったのかみたいなことはこれだけの中には当然載らないので。となると、どういう議案が出てどういうことになったのか、その結果を今掲載しているということを踏まえて、それをどういう形で載せるかってことにもなると思うんですけど、それも全部含めてスクラップビルドをしないといけないんですけど、なかなかこの短期間では難しいのではないかと考えています。今の状態がベストだとは思ってはいないんですけど、例えば大山町でこうなっているっていう内容などを考えると、見せ方の問題だけなのであって、常任委員会でどういうことが話し合われたのかとか、どういうことを議決したのかを考えると、こういう形が本当に必要なのかということも踏まえて考えないといけない。なので簡単には結論が出せない、と思います。

**○大下委員長** 他にご意見ありませんか。

松田委員。

**○松田委員** 大山町みたいにね、委員会で視察行きました、危険箇所確認しましたっていうこと、こういう動きしてますよって市民の皆さんにお知らせするのは、大変いいことだと思うんですけど、現実を見てみると、紙面の大きさをどれくらいとるかもありますし。私としては、委員会で実際に議案に関係するところを見に行って、しっかりチェックしますよっていうことを広報誌に載せるのがレギュラーというか、そういう紙面になっていくと、委員会の活動も良くなっていいことだと思うんですけど、なかなか今すぐにこれだけの紙面をとってっていうのもちょっと、まだもう少し時間かかるし、各委員会とか議会全体の理解も必要になってくるんで、理想的だけど継続事項かな、っていう感じです。

**○大下委員長** 田淵係長。

**○田淵議事調査担当係長** 今視察のお話がありましたけど、皆様ご存じの通り、年に一回委員会で行っていただいていて、それについて議会だよりに掲載するっていう流れは組んでおりますので、今年度も踏襲したいと思っております。以上です。

**○大下委員長** 他にご意見ありませんか。

新井委員。

**○新井委員** これまでのお二人とほぼ同じ意見なんですけど、現状はどういったものを載せてほしいかっていうことは、特に調査とかそういったものがない段階で、今は議会として優先順位の高いもの、それが一般質問のやり取りだとか代表質問だっていうやり取りで、紙面を割いてということだと思うので、現状はその優先順位の中で載せるべきものを優先して載せてますっていう整理で、今はその委員会の内容までを紙面に載せるっていうのは、議会側が発信したい情報としては、一般質問とかの今載せてる内容に比べたら、ちょっと優先度は下がるかなっていう整理で、今は載せないっていうことで自分はいいいのではないかと思います。今後もし、先ほど出たアンケート調査とかの中で、委員会の内容とかも見たいよ、と意見が出るのであれば、反映していくっていう形がいいのかなと思います。

**○大下委員長** 他にご意見ありませんか。

津田委員。

**○津田委員** 私も松田委員さんが言われたように、本当は載せた方がとは思いうんですけど、色々欲張ってしまうと、まあ何と言いますか、色々載せていけばページ数も増えてしまうし、文字も小さくなってしまったりっていうので、今出ている意見に反するようなことになってしまうっていうので非常に難しいと思うんですけど。例えばですけど、これ改選っていうか、3月議会の後、6月号ですね、これだと7月号なんですけど。当然ページ数が多いですね。普通の議会の時はページ数が若干変わってくるということなんですよ。

**○大下委員長** 田淵係長。

**○田淵議事調査担当係長** 掲載項目については要綱等で決めているんですけども、ページ数が多くなる場合っていうのが大体二パターンありまして、一つが代表質問がある時。あと陳情と請願が多数提出された場合は、すべて載せるようにしておりますので、それでページ数がかさむっていう、この二通りがあります。以上です。

**○大下委員長** 津田委員。

**○津田委員** それでページ数を増やしたりっていうことで予算も当然変わってきますけど、例えばどうしても委員会を載せるのであれば、全部の委員会を載せるのではなくて、持ち回りっていうか、何月は総務政策、次の号は民生教育、というような形で一つずつ載せていくとかね、三つ全部の常任委員会を出すのではなくて、一つずつ持ち回りしたらページ数も少なく済むのかなみたいなところですけど、これは意見としてです。

**○大下委員長** 他にご意見ありませんか。

三木委員。

**○三木委員** 今の議会だよりが、やっぱり最底限というか重要なことがしっかり載っているところで、まだ全部の協議事項を考えてないですけど、私はこの文字とかデザインのところが今回大きな変更点として取り組むべきところじゃないかなと思います。まずデザインとか文字の関係をしっかりと改善した上で、アンケートも進めた上で協議をして、

皆さんの意見も聞いて、もし必要であればということで、私もこれは継続審議ということで考えます。意見です。以上です。

**○大下委員長** 他にご意見ありませんか。

では継続で審議しながら詰めていくということでよろしく願いいたします。

次に裏表紙についてです。内容としてカラーの紙面が活かされていない。改善案及び意見としては、主権者教育や身近に感じてもらうという観点から子どもたちの声を掲載してはどうかと出ています。そして備考として各中学校を順番に掲載する。学校へ依頼が必要となりますが子どもたちの見学から始めてみてはどうかという案が出ています。ご意見をよろしく願いいたします。

松田委員。

**○松田委員** 備考欄に書いてある、各中学校を順番に掲載するっていうのがちょっとイメージが湧かなくて。この時はどんな議論があったんですかね。

**○大下委員長** 田渕係長。

**○田渕議事調査担当係長** すみません、ちょっとここについて深く確認しておりませんで、どういう協議だったっていうのはお答えできません。

**○松田委員** 分かりました。あとカラーの紙面が活かされていない、けれど工夫して活かすようにはなってきたのかもしれません。

学校と関わって広報していくっていうのはいいことなんですけど、この裏表紙と、中学校を順番に掲載するっていうところは、ちょっと僕はなかなかリンクしなくて、これを進める必要があるのかなって思っていましたけど、皆さんどうですか。

**○大下委員長** 今城委員。

**○今城委員** 多分この改善すべき内容とかに関連してくるのかなとも思うんですけど、要は主権者教育っていうのが議会としても必要じゃないですかっていう話だと思うんです。だから多分中学校単位でまず見学とかしてもらって意見もらったりとかっていうことに行きついたと思うんです。我々議会が主権者教育をどうするのかっていうこともまだ全く議論されてないところでそういう話になっちゃってるので、そこはまた今後の議論も必要ということを踏まえてなんですけど、そもそもこの裏表紙は、どういうことを議会として市民の皆さんにお伝えするのかっていうことが、私が前に広報広聴委員になった時にも、深く議論した記憶があまりなくて。直近の3月議会の分で言うと、議会のこういうことが変わりましたよのこととか、今回はこうですよとかっていうことをお伝えしているので、そもそもとして、毎回議論しないといけないのか、毎回きちんと決めていくべきなのかっていうこともあるんですけど。この中のウェートとして、何をどれだけどういう風にお伝えしていくのかってところをまずきちんと決めた上で、もしそれが半ページで済むことなのであれば、もう半ページはどういうものを入れていくのかっていうところからじゃないと、内容に行き着かないなとちょっと私も思っているところです。すみません、意見なのか、思いなのかになってしまっているんですけど。なので、まず我々がここですとしたり、ウェートの何をどれだけ、どれぐらいの分量で載せるのかっていうところを決めていく、話し合うところからなのではないかなというような気がしています。以上です。

**○大下委員長** 田渕係長。

**○田渕議事調査担当係長** すみません、ちょっと横から意見するんですけども、この裏表紙が項目に上がってきた背景っていうのが、今、議会だよりの裏表紙は写真をメインに据えて、カラーっていうのを有効に活用してきてるんですが、この意見が出された当時が、割と文字だけの情報がありまして、その中の意見の一つとして、こういう風に子どもが見学をしたようなところを設けてはどうかとかっていう認識でよいのかなと思います。以上です。

**○大下委員長** 今城委員。

**○今城委員** ということになると、絶対入れないといけないのはこのお問い合わせ先等と委員の名前とかだけで、そこから上のところは毎回決めるか、もしくは常時ここだけは入れましょうっていうことの議論そのものもあまりなされてないっていう感覚でいいですよ。となるとそこを今後話し合わんといかんのかなと。次号をどうするかということも含めて、ちょっと考えんといかんのかなと。いかがでしょう。

**○大下委員長** 田渕係長。

**○田渕議事調査担当係長** これについては、委員の皆様にも、こういったものを載せたい、議会の動きであるとか、視察の話もさっき上げましたけれども、今回A Iの文字起こしシステム入れたとか、そういったところをピックアップしていただいて、印刷会社と協議してデザインを考えて掲載という流れを組んでおります。以上です。

**○大下委員長** 加藤委員。

**○加藤委員** 以前鹿児島の方でやとった時に、雛型はあるんですよ。誰が何の担当やるっていうのは常に最初の時に決めて、何日までにこれ出してくださいっていうところで皆で揉んでいくような形で、そうなるをやっぱり、何というか毎回マンネリ化してしまって、あと文字が多かったりとかして色々問題もあったんですけど。自分はこうやってすっきりして写真とかで文字が少ないのはすごくいいなと思いますので、こういう流れで、毎回皆で今回はこれ、っていうのはありなのかなとは思っております。意見です。

**○大下委員長** 今城委員。

**○今城委員** という意見があるということは、ここに関しては毎回どういう内容にするのかってこと。さっきの田渕係長の話から言うと、カラーが活かされてないっていうのは、前の文字だった時のところから出ていることである。とすればその内容、どういうものをここに掲載しどういう内容にしていくことを毎回検討するっていうことで良いということ。だったら、締め切りが必ずあると思うので、その締め切りにきちんと間に合うようなスケジュール感で協議をする。ということでよかったら、もうこれ継続してずっとする、毎回そうしましょうっていうことをここで決めれば、もうこれはその認識でやりましょう、もうこれ継続じゃなくて終了ってこと。終了っていうか、それで対応しましょうってことで良いかなと私は思うんですけど。

**○大下委員長** いかがでしょうか。

松田委員。

**○松田委員** 良いと思います。

**○大下委員長** 新井委員。

**○新井委員** 私もそれで良いと思います。これは多分、あくまでその紙面の掲載内容を担

保していくという観点で、何かしらこの企画と連動させていくっていう考え方だと思うので、この内容にはもう縛られず、さっきおっしゃったように毎回内容を、何を掲載していくか、皆で考えていくということで良いのではないかと思います。

**○大下委員長** 他にありませんか。

田淵議事調査担当係長。

**○田淵議事調査担当係長** ちなみに、これは皆さんに諮っていただくことになるんですが、四市の合同の研修会がありましたので、その写真を使って案を一つ出させていたかどうかと思っておりますので、また皆さんお諮りいただけたらと思います。以上です。

**○大下委員長** 他に何か意見ありませんか。

では、その都度決めていくということで、よろしくお願いいたします。

次の協議事項、ページの削減に移ります。議員の一般質問のスペースは削除すべきでない。経費面で見ると内容の充実性で見るとかを整理して進めていくべき。審議結果一覧や請願陳情議決結果の理由などのスペースを縮小してはどうか。市民があまり見てないようなところを減らしていけるかどうかの検討が必要、という意見があります。これについてのご意見をよろしくお願いいたします。

新井委員。

**○新井委員** これまでと重複する形にはなと思うんですけど、その辺りはやっぱりアンケートとかしてからじゃないと、読者にとってどういう紙面がふさわしいのかっていうことは、我々だけでは図りようがないと思うので、現時点では現行のスタイル。さっき今城委員がおっしゃったように、アンケートをいつから取っていつからその内容を反映させるかっていうのを今後決めていく必要があると思うんですけど、それをするまでは今の、やっぱり一般質問の中身っていうものに重きを置いて作ってきたっていうところは、そこは一つの基準として、こういう基準で作ってますってことを対外的に示すっていうことも必要だと思うので、現行は削減すべきではないっていう意見で私はいいのかなと思ってます。以上です。

**○大下委員長** 他にご意見ありませんか。

三木委員。

**○三木委員** そもそもなんですが、削減するといった時に、まず削減のページ数、例えばこれ一枚なくす感じだと、1、2、3、4ページ削減になるんですが、例えばこの一枚、4ページを削減したとして、現状どのくらい削減効果、金額が削減できるのかなっていうところとか、他にページ数を割く以外での削減方法っていうのが、今分かっているものがあれば教えていただきたいんですけど。

**○大下委員長** 田淵係長。

**○田淵議事調査担当係長** ページ数なんですけれども、基本的には4の倍数で印刷会社にはお願いをされていまして、最悪でも2で割れるページ数っていうことで運用させていただいております。それとページ削減に対する経費の削減効果についてなんですけれども、1年間の契約で契約金額っていうのは決まってるんですけども、それをカラーページとモノクロページに分けて、1ページ何万円とか、そういう計算で請求をいただいております。ですので1ページ減るといくらという金額は出せます。どういう削減効果がある

のかつて数字を出そうと思えば、それを掛け算をして大体これぐらい減るっていう計算の仕方になります。

あとページ数以外での効果で何か分かっているものっていうことなんですけれども、ちょっと今のところそのページ数以外は分かりませんが、入札でやっておりますものから、その辺で、当初いただいた見積もりから、その入札の効果によって金額が下がるっていうようなことはありますけれども、そのほかで何かあるかって言われると今思い浮かぶものはちょっとございません。以上です。

**○大下委員長** 三木委員。

**○三木委員** CHIKUWA！ってアプリが導入されてると思うんですが、まだ導入されたばかりで、うちの自治会も並行してきちんと広報誌も配られて、それも削減効果みたいなので。ページ数を割くというのも大事なことだとは思いますが、できればですね、やっぱり伝えたい情報をしっかり伝えることがこういうお便りは大事だと思うんで、単にページ数の削減イコール経費削減っていうのは、なるべく避けたいなっていうのは思いとしてあります。なので、実際にその経費が非常にひっ迫していて、削減をしなきゃいけないという現状があるんだったら審議をしていかなくتهはいけないと思いますが、ちょっと他の手も考えていかれるっていう視点も大事なのかなと思って。以上です。

**○大下委員長** 津田委員。

**○津田委員** 先ほどとちょっと被るんですけど、ページを削減してあまり意図が伝わらないよりは、今のまま、現状のままで、ちゃんときっちり伝える方が私はいいと思います。経費を削減するんだったら色々な方法があると思うんですけども、大山町さんを参考にするんだったら二色刷りですとか。カラーページとモノクロページが経費面でどれだけの違いがあるのかっていうのはちょっと分かりませんが、二色刷りだったらカラーよりはだいぶ安くなると思うんで。そういうような形で大山町さんは選んでおられるのではないかなっていう風に思うところなんですけど、そういう工夫とかも考えてみたらどうかっていう。これも意見でございます。

**○大下委員長** 他にご意見いかがでしょうか。

加藤委員。

**○加藤委員** 意見なんですけど、鹿児島、私がおるところはちっちゃな町だったんですけど、中も含めて全部カラーでした。紙質は若干、なんかもうちょっと悪い紙使ってたかなと思いつながら、紙質なんかもっと落としてたら経費が削減されるのかな、まあこれで良いって言えば良いんですけど。だから米子のこの市議会だより見た時に、すごく文字も分かりやすいし、整っとるな、ただページ数が多いなっていうのは感じましたんで、だからそういうところ、文字の間隔変えずに分かりやすさなら、削減的には確かに全面カラーよりは二色刷りとかっていう使い方が、伝わりやすいっていう方向ではありなのかなとは思ってみたりもします。

**○大下委員長** 今城委員。

**○今城委員** さっき田淵係長おっしゃってくださった通りで、1年契約で入札で、今年度の分はもう決まってるわけなんですよね。一応毎回のページ数のざっくりのものと、この形式で作りますっていうことで入札してやってるので、今後必要になってどうしよう、

と本気で考えるとすると、こちらからの案なり要望なりを代表者会にお願いしないといけないと思うんですけど、11月から12月、議会側からの予算要望が出る段階のところで、ページ数なのか、それとも内容なのか、二色刷りになるともっと安いのか。でも今のところで言うとね、この表ページの4ページにかかるところのここだけが今カラーになってるんだよね。あとは全部白黒のページで、この白黒ページの分を中を二色刷りにした方が実は高くなりますってことだったらあんまり意味ないなとか。そういうことも比較検討するというのがこれから数ヶ月、もし情報としてあるとすれば、この間にきちっと情報を入れた上で、我々も議論をした上で、代表者会の方でお願いをするというような流れにすることでもいいのかなと思います。今年度については、予算がきちっと立っていて、それをオーバーしないっていう形でするわけなので、それで今年度についてはいいかな。来年度以降の予算要望についてのことを次検討するかな。私がそれとは別のサイドでちょっと心配するのは、物価スライドの問題が実際あるので、そこは大丈夫なのかなっていうことの方。インク代も紙代もものすごく高くなってきているので、実際入札いただいた時点から相当のものがっていう風に思うと、物価スライドに対してのことに応じねばならないでしょうから、その時に例えばページ数を少なく、一枚紙を無くせばそこは4ページ分ですよ、ってことになるなら、そちらの方がカバーできるのかということも今後検討せねばならなくなるのかもしれないという、ちょっと個人的にはそういう懸念というか、考えもあるかなと思っているので、これはまあ私の考えというか意見を述べるだけなんですけど。そういうことも含めて来年度のことを早い時期に情報いただいた上で検討しませんか、という案です。

**○大下委員長** いかがでしょうか。

でしたら今年度はこのままいって、それで来年度に向けての協議を継続していくということで。それで削減効果と削減策についてはまた情報を提供していただいて、その都度検討をしていくということによろしいでしょうか。ではそのように進めていきますので、よろしく願いいたします。

次にアンケート調査についてです。先ほど今城委員の説明でもあったんですけど、議会だよりの裏にQRコードが載ってるんで、そういった形でしてはどうかというご意見もありますし、新井委員から、段階的に今読んでいる人から読んでない人に対してどういう風にアプローチしていくのかっていう検討をしてみてもどうかというご意見がありましたけど、皆様のご意見はいかがでしょうか。

今城委員。

**○今城委員** 段階的にとおっしゃっているのは、それはそれなんですけど、段階でアンケートをするのは、その都度その都度意見が変わってきたりすることってすごいあるので、この時点で、っていうことをするのも一つだと私は思っていて。必要性として、アンケートをどういう目的でどういうターゲットで、っていうことをきちっと決めてからアンケートをしないと、この時はこういう人だけみたいなアンケートは、アンケートとしての質が悪いと思うんです。そういう意味では今後アンケートをするっていうことを前提にここで議論して、結論として合意できれば、するんだっいたらいつするのかっていうことを踏まえて、逆算しながら、じゃあどういう内容でする、誰をターゲットにとか、そういう一つ一

つの詰め、洗い出しをまずした上で、どういう内容にするのかってことで。もちろん先ほどのどういう方法でやるのか、なるべく予算をかけない方法ですとしたらどういうことができるのか、ということも踏まえて、ちょっとそこを検討しないといけないのかなと思ったりします。

**○大下委員長** どうでしょうか。

津田委員。

**○津田委員** アンケートの集計とかがあるんですけど、グーグルでやればすぐに集計はできるかもしれませんが、色々個人的な、設問以外のこと、その他で上がってきた分をどうするんだとか、そういうところもあると思うんですよ。そうするとそれをまとめたりとか、すごく手間がかかると思うんです。その辺をどういう風に決めていくかっていうようなところもあると思います。ちょっとこれは懸念事項として言わせていただきます。

**○大下委員長** 松田委員。

**○松田委員** 多分皆さん、アンケートはやっぱりやるべきだという方向性で。それであと、スケジュールをどうしていくかっていうことになってくると、やっぱりちょっと色々まとめたりってところが厳しいので、現実的には時間かかるかもしれませんが、この一年で、最終的に次の年度にアンケート集計をしてまとめて、提言じゃないですけど結果みたいなところでバトンタッチをするっていうところまでが、スケジュールは現実的なのかなと思ったりするんですけど。田淵さんどうでしょうか。

**○大下委員長** 田淵係長。

**○田淵議事調査担当係長** おっしゃられる通りで、色々意見が出てくるとその集約に時間がかかったりだとか、どういう方法でやるのかっていう、種類ごとにまたかかる時間っていうのも変わりますので、今年度をかけてやるっていう目標を持って、都度ご協議いただきながら進めていくということではないかと思っております。以上です。

**○大下委員長** 他に意見ありませんか。

では、そのように詰めていきますのでよろしくお願いいたします。

その他皆様から何かございますか。

田淵係長。

**○田淵議事調査担当係長** アンケートの話で、今年度かけてやるということで方向性は決まったんですが、具体的な話はまた次回以降に持ち越して検討していくということでしょうか。直近ですと、次の定例会後に次の市議会だよりについてお話しするんですけど、その中でということでしょうか。

**○大下委員長** 松田委員。

**○松田委員** 今の話だと、裏表紙を有効に使うことも多分出口としてはあると思うんですよ。今度の裏表紙は今白紙状態ですけど、案としては四市のやつでどうでしょうかという。そうするとその次の次っていうことなんで、それぐらいでいいんじゃないですか。さっきの田淵さんの案みたいなスケジュール感で。

**○田淵議事調査担当係長** 承知いたしました。

**○大下委員長** 他にご意見ありませんか。

以上で広報広聴委員会を閉会いたします。

**午前 11 時 50 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

広報広聴委員長      大   下   哲   治